

**9 - 1 九州地方とその周辺の地震活動 (2022 年 11 月～2023 年 4 月)**  
**Seismic Activity in and around the Kyushu District (November 2022 - April 2023)**

気象庁 福岡管区気象台  
Fukuoka Regional Headquarters, JMA

今期間、九州地方とその周辺で M4.0 以上の地震は 26 回、M5.0 以上の地震は 3 回発生した。このうち最大のものは、2022 年 12 月 13 日に奄美大島近海で発生した M6.0 の地震である。

2022 年 11 月～2023 年 4 月の M4.0 以上の地震の震央分布を第 1 図 (a) 及び (b) に示す。主な地震活動は以下のとおりである。

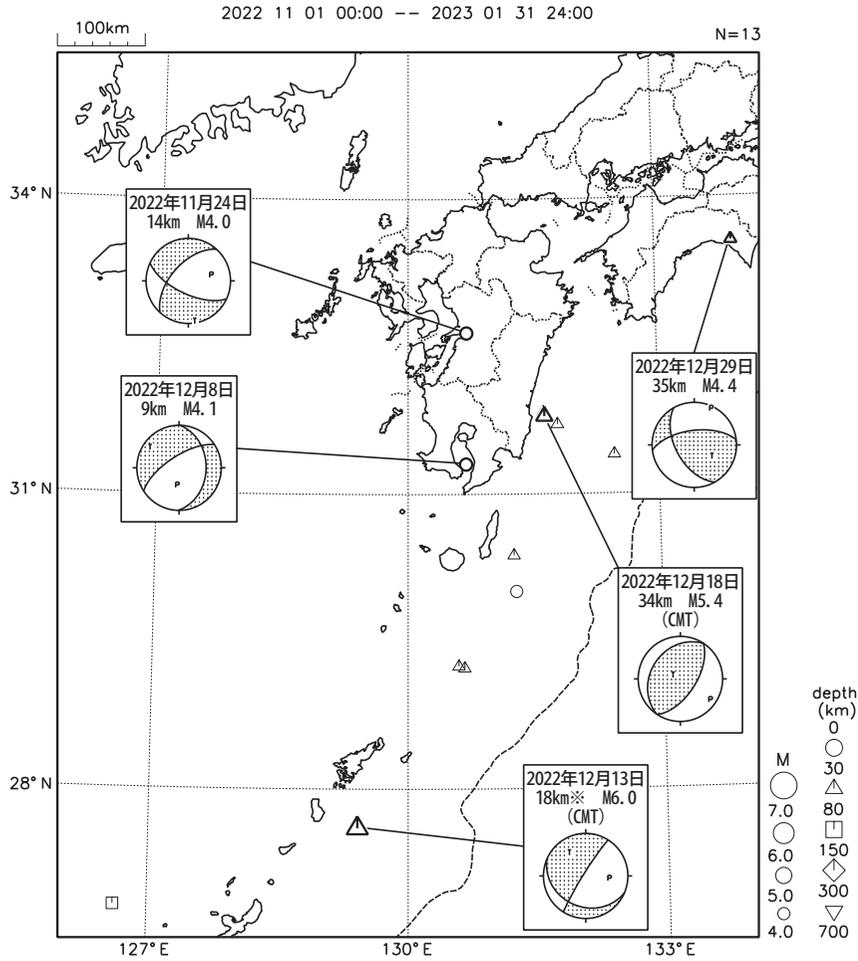
(1) 奄美大島近海の地震 (M6.0, 最大震度 4, 第 2 図 (a), (b))

2022 年 12 月 13 日 23 時 25 分に奄美大島近海の深さ 18km (CMT 解による) で M6.0 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震の発震機構 (CMT 解) は、東西方向に圧力軸を持つ型である。

(2) 日向灘の地震 (M5.4, 最大震度 4, 第 3 図)

2022 年 12 月 18 日 03 時 06 分に日向灘の深さ 34km で M5.4 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT 解) が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

九州地方とその周辺の地震活動 (2022年11月~2023年1月、 $M \geq 4.0$ )

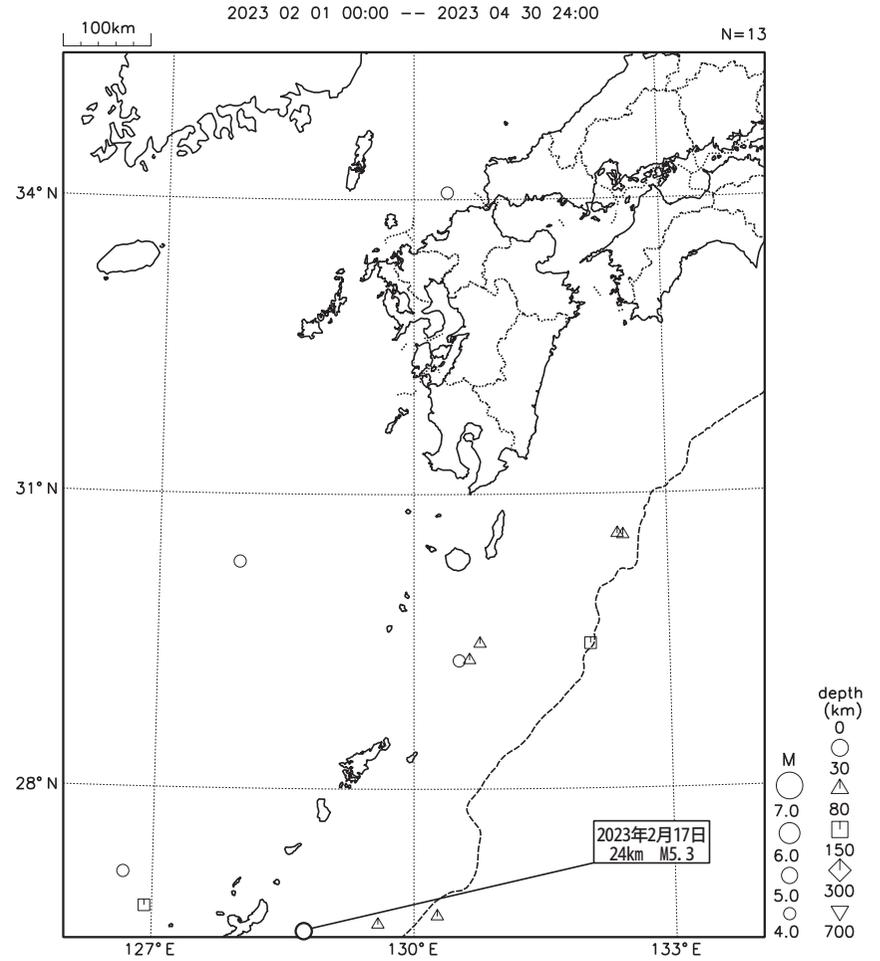


図中の吹き出しは、陸域M4.0以上・海域M5.0以上  
※深さはCMT解による

第1図(a) 九州地方とその周辺の地震活動(2022年11月~2023年1月,  $M \geq 4.0$ , 深さ  $\leq 700$ km)

Fig.1(a) Seismic activity in and around the Kyushu district (November 2022– January 2023,  $M \geq 4.0$ , depth  $\leq 700$  km).

九州地方とその周辺の地震活動 (2023年2月~4月、 $M \geq 4.0$ )

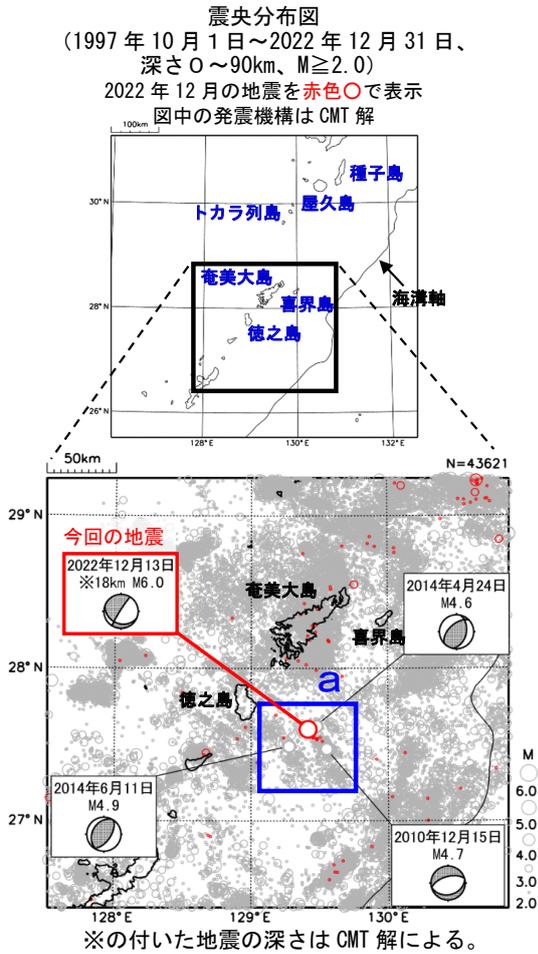


図中の吹き出しは、陸域M4.0以上・海域M5.0以上

第1図(b) つづき (2023年2月~4月,  $M \geq 4.0$ , 深さ  $\leq 700$ km)

Fig.1(b) Continued (February – April 2023,  $M \geq 4.0$ , depth  $\leq 700$  km).

## 12 月 13 日 奄美大島近海の地震

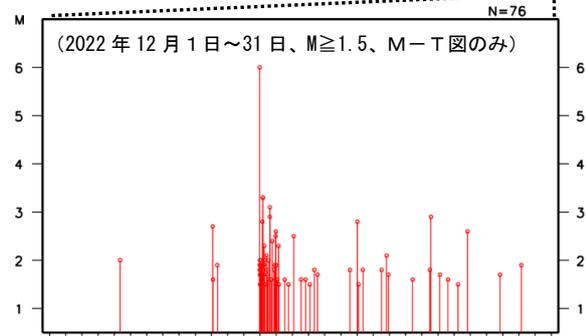
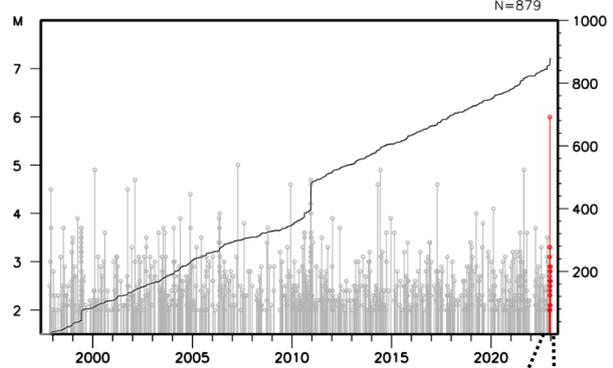


2022年12月13日23時25分に奄美大島近海の深さ18km (CMT解による) でM6.0の地震 (最大震度4) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は、東西方向に圧力軸を持つ型である。

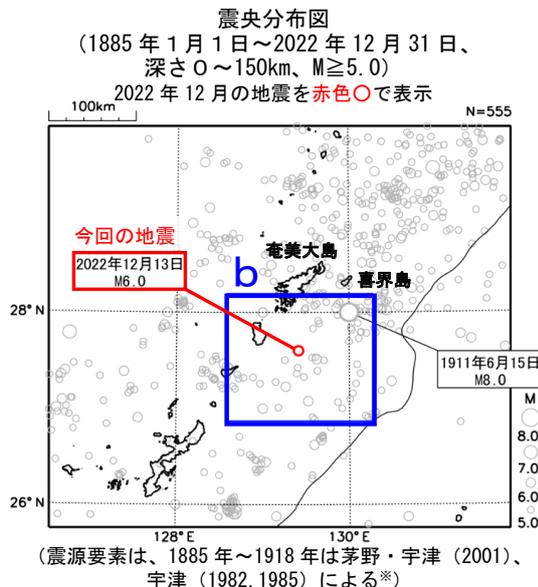
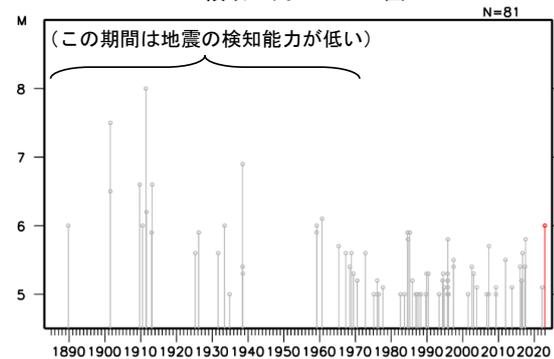
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域 a) では、M5 程度の地震は時々発生しているが、M6.0以上の地震は発生していなかった。

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 b) では、M6.0以上の地震は時々発生している。1911年6月15日にはM8.0の地震が発生し、死者7人、負傷者26人、住家全壊418棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



領域 b 内の M-T 図



※宇津徳治 (1982) : 日本付近の M6.0 以上の地震および被害地震の表 : 1885 年～1980 年, 震研彙報, 56, 401-463.

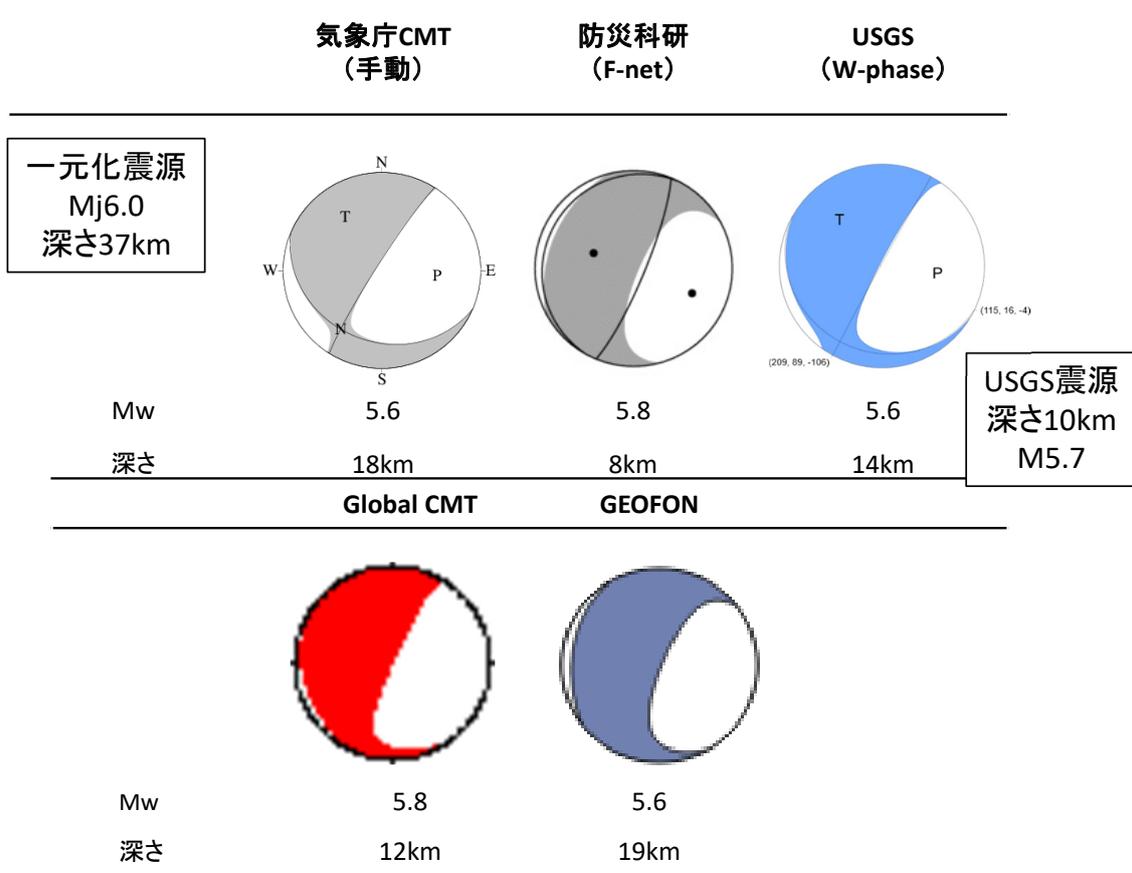
宇津徳治 (1985) : 日本付近の M6.0 以上の地震および被害地震の表 : 1885 年～1980 年 (訂正と追加), 震研彙報, 60, 639-642.

茅野一郎・宇津徳治 (2001) : 日本の主な地震の表, 「地震の事典」第 2 版, 朝倉書店, 657pp.

第 2 図 (a) 2022 年 12 月 13 日 奄美大島近海の地震

Fig.2(a) The earthquake in and around Amami-oshima Island on December 13, 2022.

12月13日 奄美大島近海の地震（各機関のMT解）



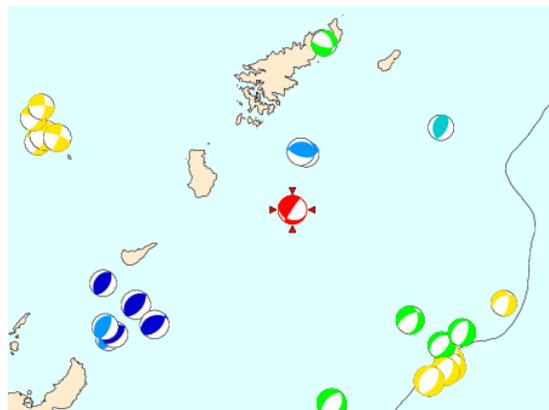
USGS震源  
深さ10km  
M5.7

防災科研(F-net) : <http://www.fnet.bosai.go.jp/event/joho.php?LANG=ja>  
 USGS(W-phase) : <https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/map/>  
 Global CMT : <http://www.globalcmt.org/CMTsearch.html>  
 GEOFON MT : <http://geofon.gfz-potsdam.de/eqinfo/list.php?mode=mt>

防災科研(AQUA)

(なし)

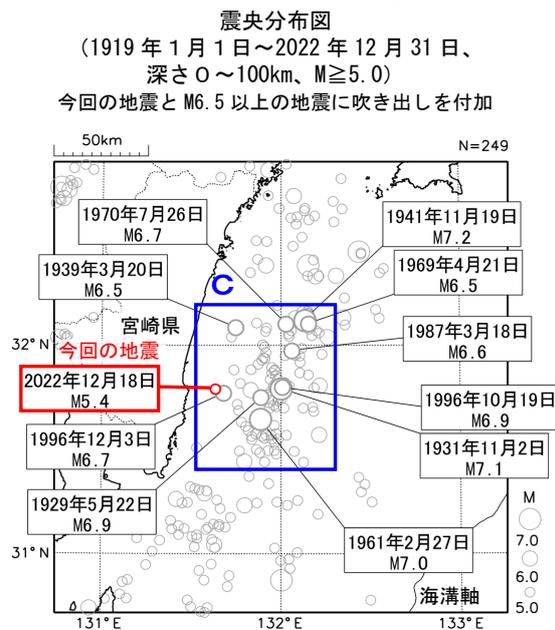
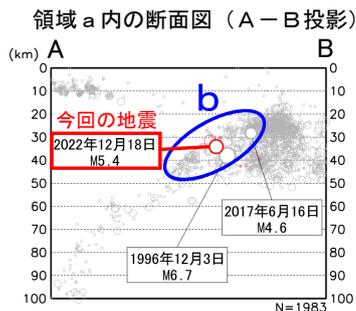
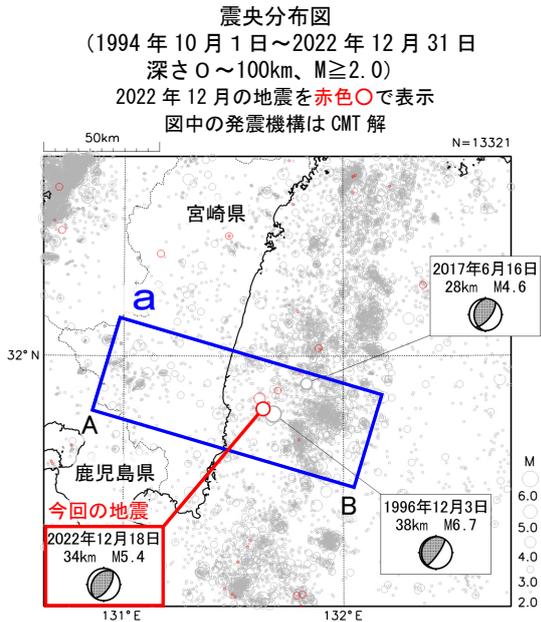
周辺の気象庁CMT解



[http://www.hinet.bosai.go.jp/AQUA/aqua\\_catalogue.php?LANG=ja](http://www.hinet.bosai.go.jp/AQUA/aqua_catalogue.php?LANG=ja)

第 2 図 (b) つづき  
Fig.2(b) Continued.

## 12 月 18 日 日向灘の地震

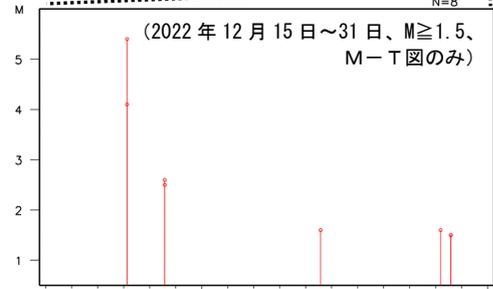
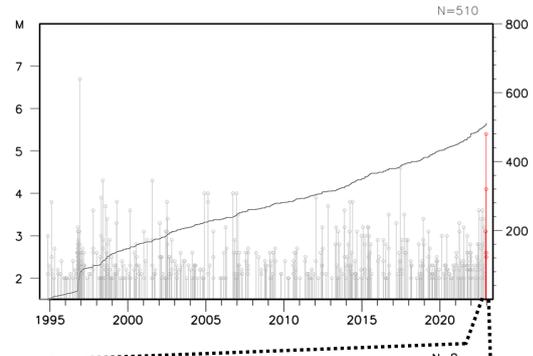


2022年12月18日03時06分に日向灘の深さ34kmで  $M 5.4$  の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

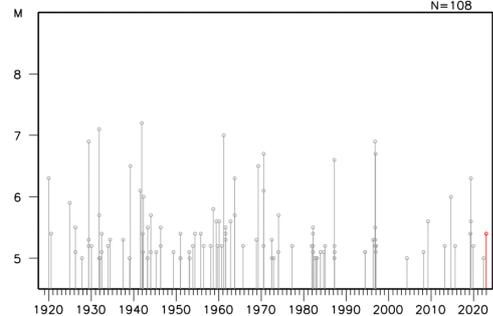
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、 $M 5.0$  以上の地震が今回の地震を含め 2 回発生している。1996年12月3日に発生した  $M 6.7$  の地震 (最大震度 5 弱) では、宮崎県の日南市油津、高知県の土佐清水で 12cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波を観測した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では  $M 6.0$  以上の地震が時々発生している。1931年11月2日に発生した  $M 7.1$  の地震では、死者 1 人、負傷者 29 人などの被害が生じたほか、高知県の室戸岬で 85cm (全振幅) の津波を観測した (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図



第 3 図 2022 年 12 月 18 日 日向灘の地震

Fig.3 The earthquake in the Hyuganada Sea on December 18, 2022.